

家族とのつながりや協力

中札内中学校一年 加藤 颯

何故そもそも「男は働く」「女は家事や子育てをする」と多くの人が思うのか。

それは昔の人の考えであり、日本特有の考えであると思う。今は、男が家に入り女は働くもしくは両方を共にやる家庭だってある。

それでもなお、「働かない男は男じゃない!」「女なのに家事も出来ないのか!」という人もいる。それが間違いだとは言わないが、今の時代共働きの夫婦が増えてきている中、それでも家事は母さんが多くしているのは何故だ。母さんは「ご飯を作る」「洗濯や掃除をする。」と法律で決まっているのか? どれだけ調べてもそんな法律は見当たらない。けど多くの家庭ではそれらを母さんがやっている様に感じる。そもそも「出産」と言う大仕事をやる母さんだ。だけどその後、育児休暇を取り家でずっと子供を見ているのも母さん。ようやく男の育休が取れるように決まったのに、二千二十年男性の育児休暇取得率は十二・六十五%しかないのだ。それはやはり昔の考えが、今も受け継がれているからだろう

か？たしかに男には男の役割として「守る」力があると思うし女には女の役割として「支える」力があると思う。でも、家事を母さんがやる事を「あたり前」と思っではいけない。「男」、「女」など関係ない。子供だつてやれる家事は沢山ある。子供は外に働きに行く事は出来ないが、家事なら大人と同じ様に出来る。

何事も「決めつけ」ではいけないのだ。ずっと身近にいる家族。だからこそ支え合い、助け合っているかなければいけないのだ。

一番信頼、信用している人だから、一番、大切にしていこうと思う。